

農林9号 Ni9

3作型で安定多収

- NCo310よりも糖度が高く、収量は3作型で安心感のある品種です。
- 分げつ性と株出し萌芽性に優れ、茎の伸長は早いです。



農林9号(Ni9)は、
平成3年に
沖縄県全域向けの
奨励品種に採用されました。

■主要な生態的特性

	発芽性	分げつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
Ni9	中	強	良	多	強	難
NCo310	中	中	中	多	強	難

■病害抵抗性

	黒穂病	モザイク病	葉焼病	さび病	葉片赤斑病
Ni9	弱	中	中	やや弱	中
NCo310	弱	弱	中	弱	弱

NCo310はさとうきび審査基準に記載された標準品種の1つで品種登録の際に使用します。



立毛状態

栽培上のワンポイント

- 黒穂病に弱いので罹病株の抜き取りや、罹病株から苗を取らない等の防除を徹底しましょう。
- 干ばつにやや弱いので、保水力の低いほ場での栽培は控えましょう。



協力：沖縄県農業研究センター (独)農研機構九州沖縄農業研究センター



独立行政法人
農畜産業振興機構

はさとうきび生産者の皆様を応援しています。